

10月1日からの被保険者証を送付します

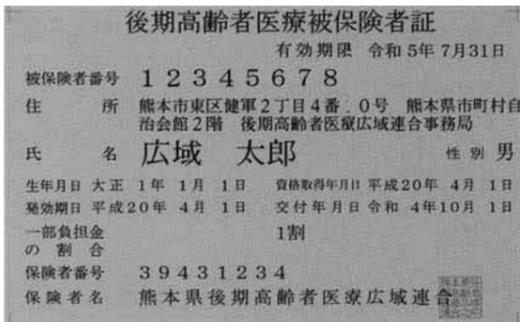
●問い合わせ先 保険年金課 ☎(248)1275

10月1日から後期高齢者医療保険の窓口負担割合が見直され、2割負担が新設されます。そのため、令和4年度は保険証を2回送付します。

有効期限にご注意ください

7月に送付したオレンジ色の保険証の有効期限は9月30日です。

薄青色の新しい保険証を9月中旬に簡易書留郵便で送付します。10月1日からは新しい保険証を使ってください。有効期間は、**10月1日から令和5年7月31日まで**となります。



2割負担の人には配慮措置があります

10月1日の制度改正後3年間(令和7年9月30日まで)は、2割負担となる人について、1カ月の外来医療の窓口負担割合の引き上げに伴う負担増加額を3千円に抑えます(入院の医療費は対象外)。

この配慮措置の適用により払い戻しとなる人は、高額療養費として登録されている口座へ後日払い戻します。

2割負担となる人で高額療養費の口座が登録されていない人には、令和4年9月下旬に熊本県後期高齢者医療広域連合から申請書を郵送します。

申請書が届いたら、口座の登録をお願いします。

問い合わせについて

制度改正に関する質問などは、保険年金課のほか、次のコールセンターをご利用ください。

厚生労働省コールセンター ☎0120(002)719

日ごろから災害に向けて備えましょう

新しい防災対策や対応について

●問い合わせ先 交通防災課 交通防災班 ☎(248)1555

「もしも」に備え日ごろの準備を

地震や豪雨など大きな災害が発生すれば、安全な場所への避難が必ず必要になります。

しかし、これまでのように避難所に多くの人が集まると新型コロナウイルスの感染リスクが高まってしまいます。基本は分散避難とし、災害からも感染症からも身を守るために、知人宅やホテルへの避難も視野に入れて、自分に合った避難方法を考えておきましょう。

昨年は市でも8月の大雨により避難所を開設しました。「合志市は災害リスクが少ないから大丈夫」と、決して他人事とは言えない状況です。日ごろから「もしも」に備え、避難方法、備蓄、携行品、災害時の情報収集について、改めて確認しておきましょう。

防災情報お知らせメール

災害時に避難所開設情報などお知らせする登録制防災メールもあります。二次元コードを読み取り、空メールを送り、手続きをすれば、登録完了です。



▲防災情報お知らせメール

ウェブ版ハザードマップ

4月にウェブ版ハザードマップを更新しました。新たに、土砂災害危険区域や、公民館の位置、河川の氾濫想定区域、避難所の場所などを確認できるようにしました。

近くの避難所や、危険箇所を住所から確認できますので、事前に情報収集をお願いします。



▲ウェブ版ハザードマップ

合志市総合防災訓練

ことしの市総合防災訓練を、10月23日(日)に開催します。今回は合志楓の森小・中学校での開催となり、一般の参加ブースはありませんのでご注意ください。

この日の午前8時40分ごろに市全域で訓練地震発生の防災無線が流れますので、ご承知ください。
※各区での防災訓練をこの日に合わせて実施するところも多くあります

子宮頸がん・乳がん施設検診の申込期限を延長します

●問い合わせ先 健康づくり推進課(ウィーブル内) ☎(248)1173

下表のとおり子宮頸がん・乳がん施設検診を実施しています。申込者および対象者には、8月に通知を発送しています。

申込期限を12月28日まで延長します

▼申込方法

20〜30歳の女性には、子宮頸がん検診の問診票を送付しています。紛失した場合は再発行ができます。

31歳以上の女性で、今年度の申し込みがまだ済んでいない人は、申込期限までに健康づくり推進課、西合志総合窓口(御代志市民センター)、須屋支所、泉ヶ丘支所のいずれかにお越しください。

▼申込期限 12月28日(水)

▼検診期限 令和5年2月28日(火)

また、委託検診機関以外での検診をご希望の人は、健康づくり推進課へお問い合わせください。

自分のため、大切な人のために2年に一度は検診を受けましょう

多くのがんは、2年に一度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、もし異常を感じたらすぐに病院を受診しましょう。



▲委託医療機関一覧などについて



▲委託医療機関以外の助成について

▼令和4年度子宮頸がん・乳がん検診(年齢は令和5年3月31日時点)

種別	対象年齢	検査項目	自己負担額	
			74歳以下	75歳以上
子宮	20歳以上	問診・視診・内診・細胞診	1,700円	600円
		問診・視触診・乳房超音波	1,500円	-
乳がん	31~39歳	問診・乳房超音波	2,600円	2,000円
		問診・視触診・マンモグラフィ	2,600円	2,000円
		問診・乳房超音波・マンモグラフィ	2,600円	2,000円

※申込者に委託医療機関一覧や問診票などをお渡しします。また、申込者は委託医療機関以外で検診を受けた場合の助成制度もあります。詳しくはホームページをご覧ください。

地域に根差した防災士連絡協議会をめざして

防災士連絡協議会泉ヶ丘支部の活動紹介

●問い合わせ先 交通防災課 交通防災班 ☎(248)1555

合志市防災士連絡協議会

泉ヶ丘市民センター支部 支部長

松浦 信久



本市の防災士連絡協議会は4つの支部で構成されています。今回はその中の泉ヶ丘市民センター支部の永江団地区での活動の一部を紹介します。

永江団地 避難行動要支援者調査

6月19日に永江団地では地区の要支援者に該当する約120人の訪問調査を行いました。この面談に永江団地に所属する9人の防災士も参加し、調査を支援しました。



▲永江ふれあいセンターにて事前打ち合わせ

調査内容は、避難行動が困難で支援が必要な人の、個別の避難計画を作成するもので、有事に備えるため、自治会での作成を必要とするものです。

当日は、朝早くから永江ふれあいセンターに集合し、区長をはじめ、自衛消防団長、町内会長や民生児童委員と防災士が連携し、計画作成の基礎調査を行いました。

地区との連携も防災士の重要な課題です。日ごろからの、こういった計画作成が連携にも結び付くことを感じました。



▲現地調査の様子